

平泉世界遺産登録11周年記念講演会

世界遺産と考古学的遺跡

講演「世界遺産にみる考古学的遺跡の特徴」

根岸 洋 氏（東京大学准教授）

先史時代の資産として国内では初めて世界遺産一覧表に記載された縄文遺跡群について、推薦書作成等に深く携わった経験から見えてきた近年の世界遺産の動向や、考古学的遺跡の評価について国内外の事例を交えて論じる。「北海道・北東北の縄文遺跡群」を中心に、やはり考古学的遺跡を含む「平泉」への展望についても触れる。

講師略歴：専門：先史考古学（縄文・弥生時代）。1979年秋田県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科准教授。2002年、東京大学文学部卒業。2010年、東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻博士課程単位取得満期退学、同年博士（文学）取得。青森県教育庁文化財保護課文化財保護主事、国際教養大学助教・准教授を経て2021年より現職。著書に『東北地方北部における縄文／弥生移行期論』（雄山閣、2020年）、『縄文と世界遺産-人類史における普遍的価値を問う-』（筑摩書房、2022年）ほか多数。

話題提供「平泉における考古学的遺跡の整備の事例 - 柳之御所遺跡の整備 -」

岩手県

日時：令和4年7月9日（土） 13：30～15：45（開場・受付13：00～）

会場：岩手大学教育学部北桐ホール（参加費無料。会場定員80名（先着）。）

終了後、YouTubeにて配信 <https://chs.iwate-u.ac.jp>

主催：岩手県、岩手大学

※当日は、検温・マスク着用等の新型コロナウイルス感染症対策を実施します。

※新型コロナウイルスの拡大状況により、変更がある場合は岩手大学平泉文化研究センターHP

<https://chs.iwate-u.ac.jp>）でお知らせします。

【参加申込・問い合わせ先】 岩手県文化スポーツ部文化振興課世界遺産担当

TEL 019-629-6486 FAX 019-629-6484

E-mail AK0002@pref.iwate.jp